

第2回 多職種連携のための研修会 開催報告

【日時】2024年1月27日14時～16時

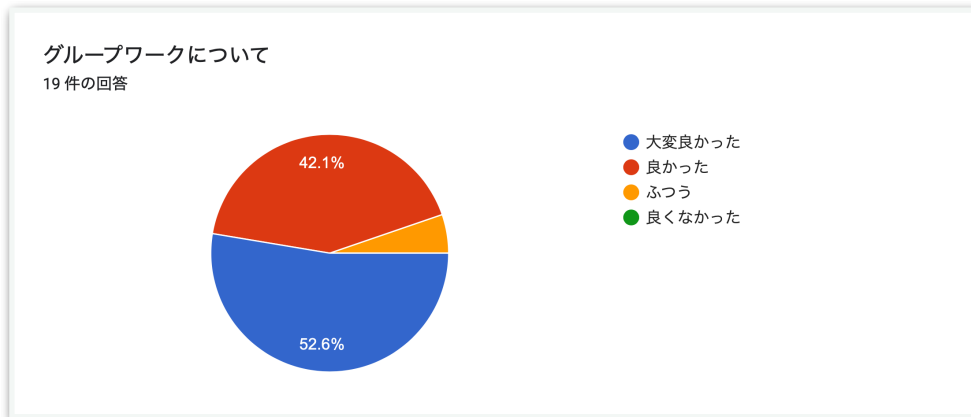
【場所】オンライン

【参加人数】

スタッフ：司会1名、センター長、レクチャー講師3名、ファシリテーター7名

参加者：23名

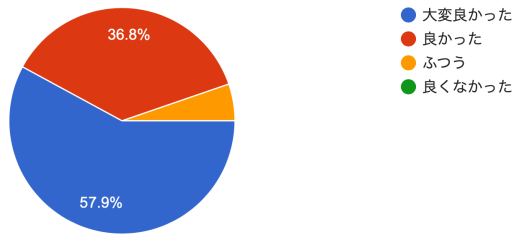
【参加者アンケート】



- ・グループワークから始まる研修は新鮮だった。
- ・多職種で装具についての知識を共有出来たのはよかった。グループワークでは多職種ならではの視点で意見が出たので、有意義であった。
- ・GWはまさに多職種連携のような臨場感があり自分の気づきにくい視点があったことがよかった
- ・ファシリテーターを務めました。予定グループ参加者より、かなり少ない参加で戸惑いましたが、逆に遠慮なく活発な討議ができ自身も理解、知識が深まり有意義な研修でした。
- ・お世話いただいた方々、ありがとうございました。
- ・グループワークの人数が3名で時間が長く感じました。
- ・グループワークの際に発言内容をメモするソフトを事務局で指定いただけるとスムーズに開始できたかなと思いました。時間割をチャット欄に掲示いただくのはいかがでしょうか？
- ・グループワークを通して、多職種（急性期だけではなく、回復期、生活期に従事している方）と意見交換ができ、実際の現場の現状など共有することができ、大変深く学ぶことができました。
- ・多職種との話し合いを行うためのファシリテーターの役割の講義など とても役に立ちました。ただ、ZOOM勉強不足で書記の方法が分からず、ファシリテーターの方が書記をすることになってしまったことは、話し合いの時間などを考えると残念でした。
- ・ミニレクチャーについては、知らない内容もあり、とても学びとなりました。
- ・グループワークで多職種の方との交流は、大変勉強になります。

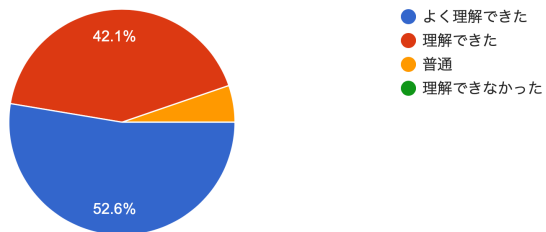
ミニレクチャー：他職種とのコミュニケーションについて

19 件の回答



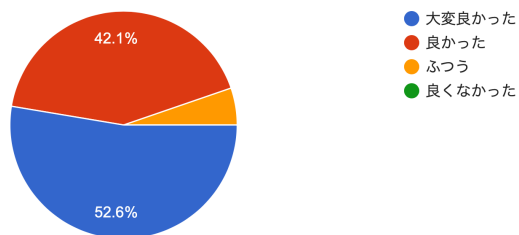
理解度

19 件の回答



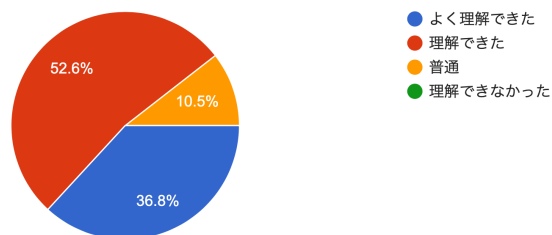
ミニレクチャー：心臓疾患の生活期について

19 件の回答

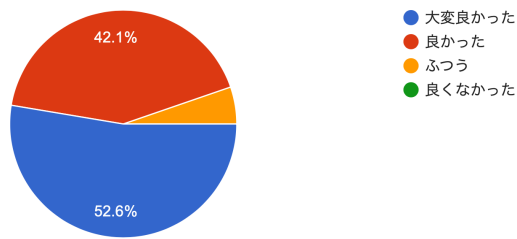


理解度

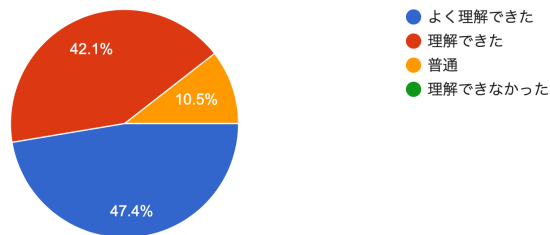
19 件の回答



ミニレクチャー：脳卒中の生活期について
19 件の回答



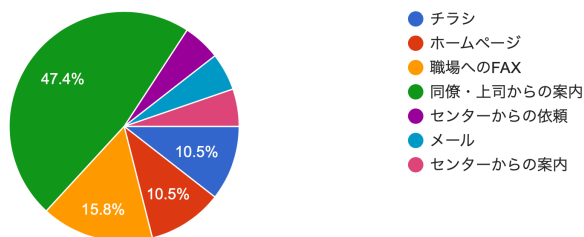
理解度
19 件の回答



- ・もう少しレクチャーの時間を長くしてほしいかった。学びを深めたかった
- ・色々な方向から話を聞くことができて良かった
- ・このようなグループワークは、（私の立場からは）あまりお話を聞く機会の少ない在宅スタッフの意見が聞けるので貴重と思いました。また、リハビリの装具の話題も新たな視点で、興味深く聞けました。早速フィッシングや満足度など、患者さんとのお話に生かしていきたいと思います。
- ・在宅で訪問診療や訪問看護に携わっているため、心不全や脳卒中の知識を深めることができて良かったです。厚生労働省の心不全のガイドブックをぜひ参考にしたいと思いました。ありがとうございました。
- ・心疾患や脳卒中の患者が増加し、デイサービスやショートステイ、訪問看護師など各サービスの場での判断が求められているため共通したガイドラインを用いて共有できればよいと思いました。グループワークもとても話しやすい雰囲気で楽しく学べました。

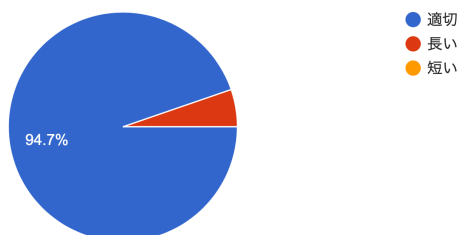
どのようにして参加されましたか？

19 件の回答



研修会全体の時間配分

19 件の回答



【次年度以降の研修会について】

- ・ 糖尿病や認知症も同様の研修があるといい。
- ・ 症例を通しての多職種でのグループワーク
- ・ 対面の方がより活発に意見を交わしやすいと思いました。
- ・ このようなグループワークの機会は貴重だと思いました。グループワークがあると良いと思います（スタッフの労力が大変とは思いますが）
- ・ 昨年度は医師や看護師、リハビリセラピストからの情報提供が多かったので、今年は、MSWさんから、介護保険や申請の流れなどを学び、スタッフからも情報提供できる支援を整えられるとよいかなと思いました。
- ・ 脳血管性認知症や狭心症、腎不全（透析）など

（山口朋子）